

決 議

政局は混迷を深め、菅政権は政治主導から官僚主導に豹変し、財務省の意のままに増税を目論んでいる。

また、新成長戦略を経産省・財界主導で画策し、小泉政権時代の市場原理主義を復活させ、混合診療に道を開く医療ツーリズムを推進しようとしている。不況が続く中、国民の世帯収入が減少し、高い自己負担のため病気になっても受診抑制せざるを得ない状況が生み出されている。

かかる状況を踏まえ、我々医師は、財務省、財界が企図している新成長戦略での株式会社参入、混合診療の全面解禁、格差医療につながる医療ツーリズムの推進に断固反対し、世界に誇る国民皆保険制度を死守しなければならない。我々は、国民の健康と安心を保障するため、左記の事項を強く要求する。

記

- 一、受診抑制につながる患者自己負担を大幅に軽減せよ。
- 一、国民に制限医療・格差医療を強いる混合診療の全面解禁に断固反対する。
- 一、市場原理主義を目論む医療ツーリズムに断固反対する。
- 一、医療機関の経営を圧迫する控除対象外消費税を解消せよ。

右、決議する。

平成二十三年三月五日

第一一〇回札幌市医師会定時代議員会